	のっを元業こ的無の扶ひ八												
第十一	を破除し、ためび限展の述買く二して被激に業國高的を獨せ易て生	くの又彼	佛	英	米猪] 清	Ħ			統して	った。これ	勞働、婦人	
章 查本主義	よこ、開装 戦立る 證 く る様 した。 この 戦 前 結 結 なの した。 そ 巻 歌 の の る が の で あ し た。 で む む む む む む む む む む む む む む む む む む む	政に調え	國		國國	丨國	本	名	在朝	れリスト	が 歐米資本	八、幼年工に	第四編 資本
の侵入に伴と	山者家購宴豊形的人間方情	の極に達した。						仁	朝鮮各國 商館	語 億 で 等	。 正常的	對する封建制	平主義の侵入
小社會經濟狀	電 迎 式 の 三 し そ 行 の 經 を れ 耐 町 軍 輝 重 甦 れ す 生 濟 止 て、	こ何に	1	-		- - 六	二 六	Л	品數 (明治)	3,	韓國市場に積極的酸展を遂げたる	的使役の	
Contraction of the	た。韓國人は支援 音でであった。 な なった。 な な で な で な で で で で で で で で で で で で で	救 堂 嚴 措 協 」						釜	一十九年)	道 、 鑌	る歐米資本主	基礎の上に強	
「後の古		「大東紀年、	1	1	1 1	一四	1111	Щ		利菜權	しめなかった主義にとつて	年え立った日	
し、戦にに、戦	雨 ~ た 成 不 前 は 伝 不 前 は で な な な 衣 府 な る 夜 な 衣 衣 衣 か た の た の た の た の た の た の た の た の た の た	凱を 遊 じ て て						元		とこして	こし、この日	山本資本主義	
劉 音曲、	車 豊かった この	九十萬司の	1	1	1 1	111	H. I	山		場せしめ	である。許	に依つての	
	ころにおいて韓國ころにおいて韓國ころにおいて韓國になった。更になった。更に金山、 たせる行政費はことなった。 たせる行政費はこの飢餓、 たせる行政費はこの。 のは関妃の行動であった。 して、封建的三官 たせる行政費はこの。 のは関妃の行動であった。					四二	0111	計		全 秘·	「してこの貼に歐米資本主」	み、初めてかくの如	三回の
	オ・ル・エ・て、僚の、義食は、は、し、ない、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、						*		La contra da la co	話	本 な 主 か	き厭	

のっを元業こ的無の扶ひ八八者を一山との及制發持上にか九かを。層、農外び限展の述買く二く谷									*	Inc		
し彼激仁業國高的を獨せ易て年の、 ては成川と資利統意特るに以に如叉	佛	莢	*	獨	清 日	國		続 計 し こ	夜をして、	價た商品が	勞働、婦人	
本し權 て、 合入凡るでり本者 聯 乏、 主め掌、 武をはゆ經な、 制のの あ	國		國	國	國本	名	在朝鮮	をよく	キリスト教宣傳:	可	、幼年工に	第四編 資本
の山 者 家 購 実 形 的 人 前 方 情 に 入 御 一 章 一 御 方 晴 定 影 防 凡 過 品 で に 入 聞 し と 取 改 査 と 認 ア の 人 間 と し か か し む か し む か い し む か い し む か い し む か い し む か い い い い い い い い い い い い い い い い い い						仁	鮮各國商館	てゐる	」 傳等の手段 で 韓國市	正常的發	對する封建制	主義の侵入
1 二、金辺式の三しそ行の經をれて、この「一」ででした。 この「「「「」」では、「」」に、「」」に、「」」で、「」」に、「」」で、「」」に、「」」で、「」」に、「」」で、「」」で	-	-	· · · · ·	11	- - 六	Л	數 (明治二		に依る、鐵場に積極的	を遂げたる	的使役の基	
ロードの電荷リーを形で經緯人 た 嚴 中にと、と、と、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、						釜	十九年〕		道、鑛山等	本土	礎の上に袋	
は、したので、このの、このの、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こ	1	l	1	1	1三二	Щ			の利權探求	義にと	「え立つた日	
な下た。海政なし依代前、な し、な た で なるない なっていた。 なん なん に なん こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ						元			者として	ここの	本資本主義	
歌石 拍 派 なって 海谷 五十萬一 なって	1	1	1	1	- H = =	Щ			場せしめた	たとの競	に依つての	
回の借款をなした。これは一 間の借款をなした。これは一 (納支拂」となった。 (納支拂」となった。 した。こゝにおいて韓國は遂 した。こゝにおいて韓國は遂 した。こゝにおいて韓國は遂 した。こゝにおいて韓國は遂 した。こゝにおいて韓國は遂 した。、こゝにおいて韓國は遂 した。、世 に没 しめ、従來の農村に於ける資本主義 しめ、従來の農村家内工 世しめ、従來の農村家内工 世しめ、従來の農村家内工 時 すっ増大せる行政費はこれ 、 市 市 で あった。更に釜山、 一 市 に 一 市 で あ し た の に 勝 町 方 で の た に 過 ぎ な り た の 、 に 浩 い に 浩 い に 浩 い に た に の 行 政 費 は に 次 り の 作 の 、 に 浩 の た に 過 ぎ な の た に 一 の で の の 、 の 行 の 予 本 に ろ で の た の た の の の の 一 の た の の の の の の の の の			-		四二二,				全秘密がある。「韓國社	は到底勝算は期し得なか	み、初めてかくの如き廊	
									L =	E 2	ØK	

第十一章 資本主義の侵入に作ふ社會經濟狀態	の者をして卜術をなさしめ、山川、名所に新館し、宮中に於ては卜術の抜と讒言、歌舞、音曲、新鶴観が日常の事務	った。彼は事實上の政權掌握者として、金剛山一萬二千峯には峯毎に錢十兩と米一石とを供献すると共に、他面多勝	を一層激成した。そして、國家財政が朝追すればするほど接收は強化した。そこへ指車をかけたのは関妃の行動であ	元由、仁川等の開港費、武器購入費、新式軍隊の設置費、諸事變の償金、海外使師派遣費等の増大せる行政費はこれ	業と農業との直接的結合を破壊した。その結果は、治者階級にとつてもまた財政的な一大打撃であった。夏に畿山、	この外國資本主義の侵入は、農民を二重三重の色とりへ、の形態に依る收取に依つて零落せしめ、従来の農村家内工	約異び高利貸的収取の凡ゆる形態を復活し歴生させ、かくて彼等に既況なる存在の餘地を與へたに過ぎない。かくて 彼等に既況なる存在の餘地を與へたに過ぎない。かくて 彼等に既況なる存在の餘地を與へたに過ぎない。かくて 彼等に既況なる存在の餘地を與へたに過ぎない。かくて 彼等に既況なる存在の餘地を與へたに過ぎない。かくて 彼等に のなどの などの	無制限的統治に立脚する經濟的沈滞!それであった。にただ「文明的」た資本主義的衣裳を着せて、	の弱展を意味するものでなく、凡ゆる先行する生産形態(それは人間に依る役畜の代量、最も寄生的な牧取的形態の	秋将の福時た保設であり、最村通列人口の先常養顔であった)にとって代った。しかもこれは最村に於ける最来主義	上述せるどとく、液本間的商品「貨幣經濟が自然經濟へこの農業と農村家内工業との直接的結合は農民の飢饉的な	ひに貿易における動等者の一方である事を止めた。韓国人の外国貿易に間は早一福特な資料支援したなった。
	位と豫言、歌舞、音曲、新精範が自常の事数	十兩と米一石とを供献すると共に、他面多数	た。そとへ指車をかけたのは関妃の行動であ	、海外位部派遣費等の増大せる行政費はこれ	また財政的な一大打撃であった。更に撤山、	牧取に依つて零落せしめ、従来の農村家内工	なる存在の餘地を與へたに過ぎない。かくて	こた資本主義的衣裳を溜せて、封建的目官僚	(依る役畜の代徴、最も寄生的な牧取的形態の	、代った。しかもこれは最村に於ける貴本主義	「村家内工業との直接的結合は農民の飢饉的食	は間はま「福特な資料支援」となった。

